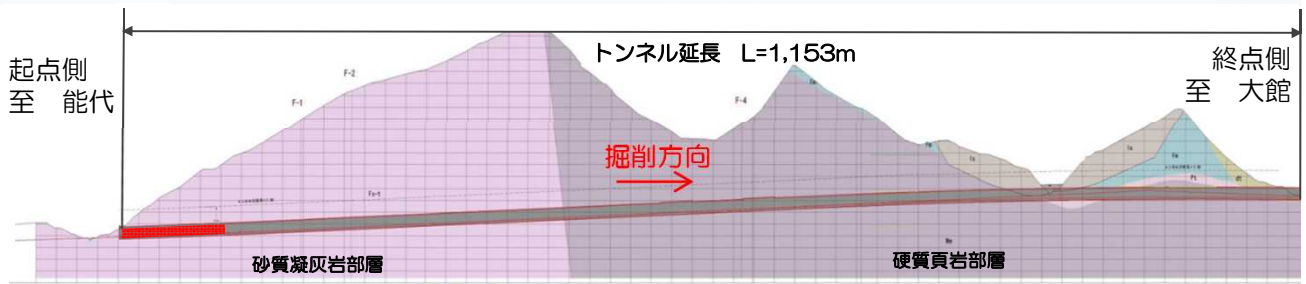


梅雨の時期も終わりに近づき、暑い日が続いておりますね。  
体調など崩しておられませんか？  
体調管理をしっかりとし、熱中症などに気をつけていきましょう。  
それでは、今日も…絶好の、「とんねる日和」\_\_。

## 「小繋トンネル工事の概要」



掘りすすメーター  7月23日時点 105m 小繋トンネル 全長1,153m

### —進捗状況—

現在、小繋トンネルでは本格的に掘削作業を行っております。発破からズリ出しまでの1回の工程で1m掘り進めることができ、それを約5時間かけて行っております。現在は105mまで掘り進められており、進捗率は9%となっております。

### —地質の特徴—

全長1,153mのうち約3分の1が「砂質凝灰岩」、残りの地層は「硬質頁岩部層」からなっております。「凝灰岩(ぎょうかいがん)」は他の岩石層に比べて柔らかく、また十分に固結していない凝灰岩層は地下水を含みやすいため、地滑りの滑り面となることがあります。「頁岩(けつがん)」は薄く割れやすい性質をもつ泥岩、泥板岩とも呼ばれており、本のページ(頁)をめくるように剥離性のあることから名づけられたそうです。

### —現場見学会—

7月17日(水)、二ツ井今泉道路の小繋トンネル工事「施工業者東急建設(株)」現場内において、内崎中柳自治会15名の参加による、現場見学会を実施しました。見学会では、工事概要の説明、実際の工事の様子などを見学し、工事の進捗状況を確認していただきました。普段目にする事の無いトンネル工事に、「1回の作業はどのくらい時間がかかるの?」「いつ頃出来るの?」と、完成を楽しみにする声も寄せられました。

私自身も、約1ヶ月ぶりに小繋トンネル工事現場を取材して来ました。前回取材した際には遠目からでも中の様子が見えていましたが、今は目を凝らして見ないと中が見えないくらい奥が深く…。毎日コツコツと掘り進められているのが分かりますね。



← 実際に掘削作業で使用している機械を間近で見させていただきました。

「見た」  
L O K メーター  
268人

現在までのトンネル工事等への延べ見学者数です。

### —編集後記—

前号に引き続き、小繋トンネルの掘削状況、現場見学会を記事に取り上げました。小繋トンネルは現在、秋田県内唯一のトンネル工事現場となっており、最近では見学者数も増加してきております。地域の方々にも工事状況を把握していただく良い機会ですね。次号も小繋トンネル事業についてお伝えします！ それでは明日もトンネル日和♪